



【学校教育目標】 自分らしさが輝く児童の育成

【水窪中学校区でめざす子どもの姿】 将来どこにあって、自分の力でたくましく しなやかに生き抜く子供

【水窪中学校区 キャリア教育】 み…みんなと活動する子 さ…最後まで追究する子 く…くじけず、挑戦する子 ぼ…ぼく、私も自分を磨く子

## 朝礼 『あきらめない気持ち』

今月はこの話題に触れないわけにはいけませんね。サッカーワールドカップ、盛り上がっていますね。残念ながら 日本は、前回準優勝のクロアチアという国に負けてしまいましたが、堂々のベスト16入り、つまり、世界中で、サッカーが強い16チームに入ったんです。しかも、1次リーグで勝った相手すごいです。優勝候補のドイツとスペインに勝って決勝トーナメントに進出。だから、日本中が大興奮したんです。世界中の人たちも、まさか日本が優勝候補を二つ倒すなんて！って、びっくりしたんです。

さて、日本がその優勝候補スペインに勝って、決勝トーナメント進出をきめたとき、日本中のテレビやインターネットはサッカー一色でしたが、そんな中、こんな言葉が飛び交っていました。

### 「三苫(みとま)の1ミリ」

今で言う「バズる」ってことかな。

強豪スペイン戦、三苫選手がラインぎりぎりボールを蹴って、味方にパスしたことが逆転のゴールを生み出し、勝利につながったのです。もしボールがラインの外に出ていたら、得点にはなりません。

でも、その時の映像や写真をよく見てみると、三苫選手が蹴った瞬間、ボールが出ているようにも見えるんです。外に出ていたのか、出ていなかったのか、審判にも判断できず、VARというビデオ判定になったのですが、その結果、ボールは出ていないと判定されて得点が認められたのです。ボールがラインに掛かっていたのはわずか1mm、しかも空中の1mm。厳密には1.88mmらしいのですが、この1mmが決勝トーナメント進出につながったのです。

この「1ミリ」は奇跡であり、たまたまの偶然かもしれませんが、確かなことは、この1ミリは、三苫選手があきらめずにボールを追いかけ、あきらめずに味方にパスしたからこそ生まれた奇跡、偶然です。三苫選手があきらめていたら、この「1ミリ」は生まれず、日本は勝てなかったかもしれないのです。

「あきらめない気持ち」大事ですね。それは、三苫選手の「勝ちたい」という強い思い、

「決勝トーナメントに行きたい」という目標が、「あきらめない気持ち」につながったのです。

さあ、皆さんにとっても「あきらめない気持ち」を発揮する行事が近づいてきました。持久走大会です。あきらめずに走り続けるには目標が大切です。

「去年のタイムより記録を伸ばそう！」 「〇位までに入ろう！」 「〇〇さんに勝ちたい！」

「とにかく、最後まで走り抜こう！」

目標は人それぞれです。自分の目標をしっかり持ち、その目標への思いの強さが、あきらめない気持ちにつながっていくと思います。目標の達成に向けて、あきらめずに頑張ってください。ひょっとしたら「あなたの1ミリ」で、タイムや順位が変わるかもしれませんよ。

# 全力の姿に感動！ 小中持久走大会

12月11日(日)に、水窪小中持久走大会が開催されました。当日は、青空が広がり、気温も高く、絶好のマラソン日和となりました。沿道には、多くの保護者や地域の方が応援に駆けつけ、子供たちに温かい声援を送っていただきました。子供たちも、自分の目標タイムを設定し、その目標を達成しようと練習に取り組み、大会本番では、最後まで全力で走り抜く姿がたくさん見られました。大会を通して培った「苦しさに負けない気持ち」や「最後までやり抜く力」をこれからの学校生活に生かしていけるよう励ましていきます。

当日、走路観察員としてコースに立っていただいたPTA 体育委員の皆様、CSの皆様、本当にありがとうございました。

